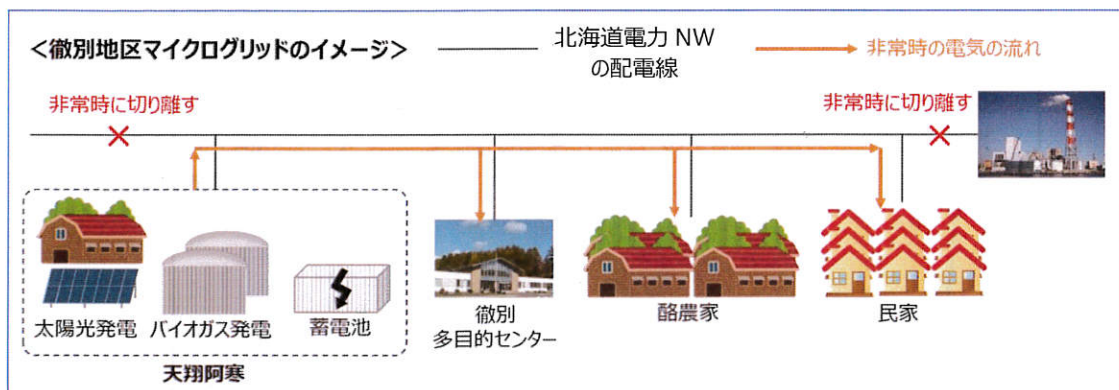


釧路市阿寒町地域マイクログリッド構築事業について

■ 地域マイクログリッド構築事業とは

地域マイクログリッドとは、既存配電線網を活用し、災害等による大規模停電時に一定区域を他の電力系統から切り離して再生可能エネルギー電源などにより電力供給を継続する新しいエネルギーシステムです。

本事業は、自然災害等による大規模停電時に、阿寒町内の徹別中央、下徹別、紀ノ丘（きのおか）などのエリアを北海道電力 NW の送配電ネットワークから切り離し、エリア内のバイオガス発電設備・太陽光発電設備などによって、地域の皆さまへ電力供給することを目指すものです。



■ 事業実施エリア



■事業概要

事業実施エリア詳細



地域マイクログリッド構成設備

設備名	仕様等
太陽光発電設備	出力 160kW
メタン発酵バイオガス発電設備	定格出力 166kW + 49kW
蓄電池設備	定格出力 272kW、定格容量 1,087kWh
監視制御サーバ	グリッド内監視、需給調整
EMS 端末 [※]	電源側 1 台、需要側 13 台 データ送受信、計測・制御

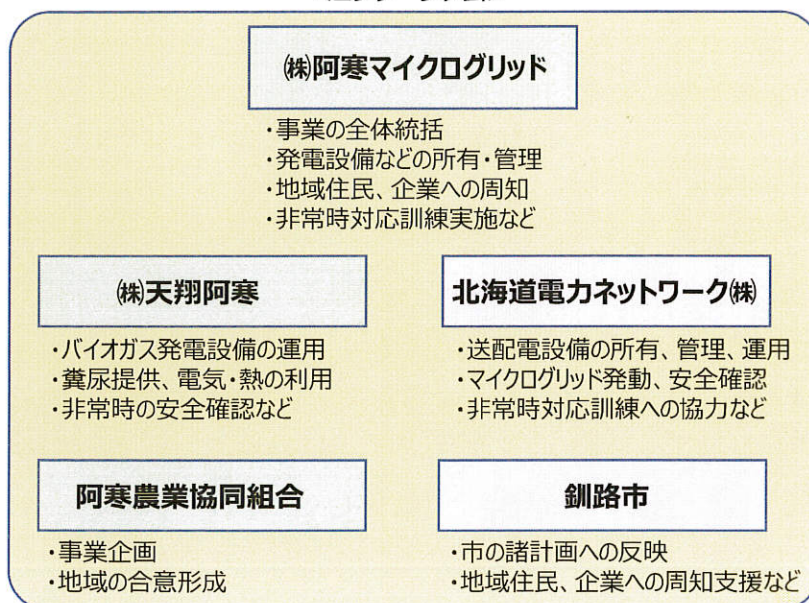
※エネルギーマネジメントシステムの略。再エネ設備や蓄電池、需要をコントロールするための設備。

非常時に電力供給される建物

施設名	概要
徹別多目的センター	釧路市指定避難所（収容人数 104 人）
酪農施設	14 軒
民家	25 軒

■ 本事業実施に関するコンソーシアム体制と役割分担

＜コンソーシアム＞



以上